

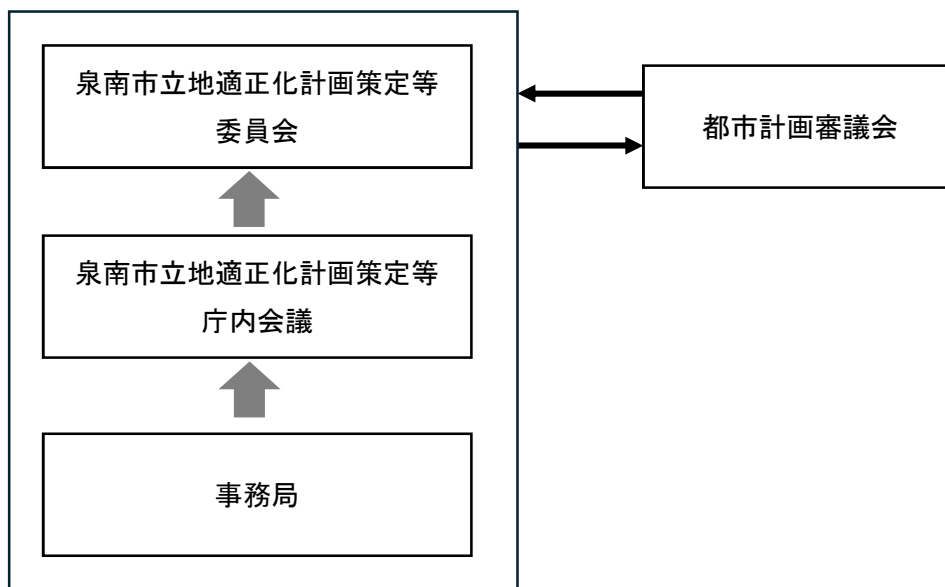
会議の目的、検討体制、検討内容、スケジュール

1. 会議の目的

- ・ 近年、本市の人口が減少し、少子高齢化が進行する中、持続可能な都市経営を確立することがまちづくりの課題となっている。
- ・ こうした状況を踏まえ、本市では、令和 7 年度から 8 年度にかけて、本市の特性に応じた「コンパクト・プラス・ネットワーク」型の都市構造の形成を推進するため、「泉南市立地適正化計画」の策定を予定している。
- ・ 本会議は、「泉南市立地適正化計画」の策定にあたって、専門家や関係機関等からの意見を聴取することを目的として開催する。

2. 検討体制

- ・ 「泉南市立地適正化計画」の策定にあたっては、以下の体制により検討を行う。



■検討体制

3. 検討内容

- ・ 本会議では以下の事項について検討を行う。
 - (1) 前提条件の整理
 - (2) 現状分析
 - (3) 居住及び都市機能の立地動向と課題の分析
 - (4) 基本的な方針の設定
 - (5) 計画区域の設定
 - (6) 誘導施設・規模の設定
 - (7) 施策・事業の検討
 - (8) 防災指針の検討
 - (9) 計画推進に向けた方策の検討

4. スケジュール

- ・ 検討にあたっては、以下の「会議内容と予定」、「スケジュール」に従い実施する。

■会議内容と予定

会議	内容	予定
第1回	・ 会議の目的、検討体制、検討内容、スケジュール ・ 立地適正化計画とは ・ 現状分析と課題、基本的な方針について	令和7年10月
第2回	・ 誘導区域の設定 ・ 誘導施設・規模の設定	令和8年2月頃
第3回	・ 施策・事業の検討 ・ 防災指針の検討	令和8年6月頃
第4回	・ 計画推進に向けた方策の検討 ・ 立地適正化計画（素案）の検討	令和8年10月頃
第5回	・ パブリックコメントでの意見と対応 ・ 立地適正化計画（案）の検討	令和9年2月頃

■スケジュール

業務項目	令和7年度										令和8年度											
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 前提条件の整理		●	—	●																		
(2) 現状分析		●	—	●																		
(3) 居住及び都市機能の立地動向 と課題の分析		●	—	●																		
(4) 基本的な方針の設定			●	—																		
(5) 誘導区域の設定					●	—	●															
(6) 誘導施設・規模の設定					●	—	●															
(7) 施策・事業の検討								●	—	●												
(8) 防災指針の検討								●	—	●												
(7) 計画推進に向けた方策の検討													●	—	●							
(8) 計画書のとりまとめ													●	—	●			●	—	●		●
庁内検討会議				●				●				●				●				●		●
策定部会					●					●												
策定委員会				●				●					●			●				●		
都市計画審議会					●			●					●			●				●		●
地元説明会																	●	—	●			
パブリックコメント																	●	—	●			